

第4回「Qの会」 研修会・総会開催

第4回「Qの会」研修会が10月22日に開催されました。今回の研修は、前回に引き続き「患者さんの内なる声に耳を傾けよう」というテーマで、四国学院大学社会福祉学部教授鳥影俊英先生を講師にお迎えして、講義やロールプレイを行いました。

最初に前回の振り返りと実践報告を行い、参加者から患者さんへの話かけ方に対する質問に具体的に答えていただきました。その後、糖尿病患者さんと看護師の関わり方の場面のロールプレイによるデモンストラーションと解説がありました。

午後からは、「コミュニケーション技法」についての講義とワークを行いました。実際にワークをすることにより、患者さんへの接し方をより実践的に学ぶ事ができました。

これからの看護実践の場で、良い関係を作るのに役立つ楽しくするための講義でした。時間が足りないと思つくりの有意義な時間を過ごすことができました。

研修会でのアンケート結果報告

第4回研修会参加者62名のうち41名より回答をいただきました。その結果についてお知らせします。

研修会参加のきっかけとしては「コミュニケーションスキルを磨くため」と言う人が33名80%と多くみられました。時期については「ちょうどよい」が91%でした。

ワークでコミュニケーションでの課題を見つけることができただかどうかについては「おおいに」44%、「まあまあ」49%で、

「聞けばかりでなく承認すること、ポイントをまとめて聞くことが大切だとわかった」
「今後の自分の課題が明確になった」という意見がありました。

学んだことを現場で活用できると思うかについては全員の方が「おおいに」「まあまあ」と答えました。又、「具体的に」とあるためわかりやすかった。「実践的な講義だった」「活用する意欲が出てきた」という意見がありました。

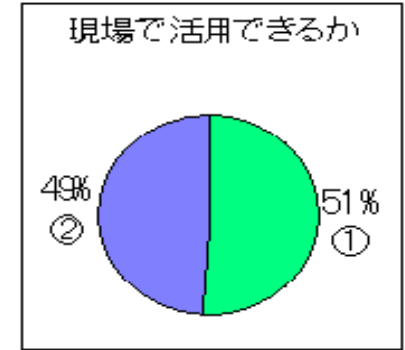
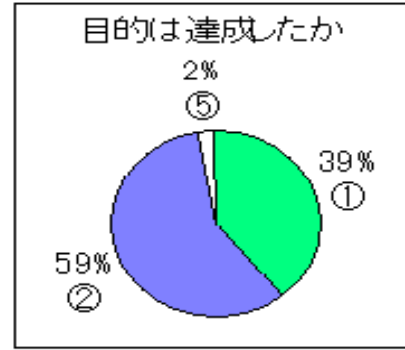
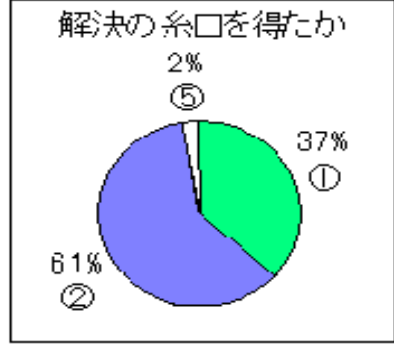
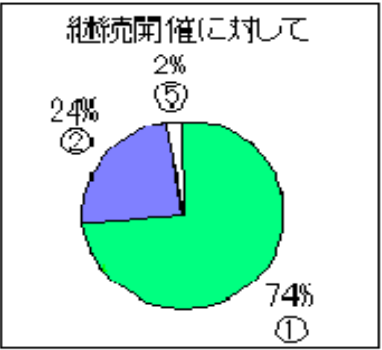
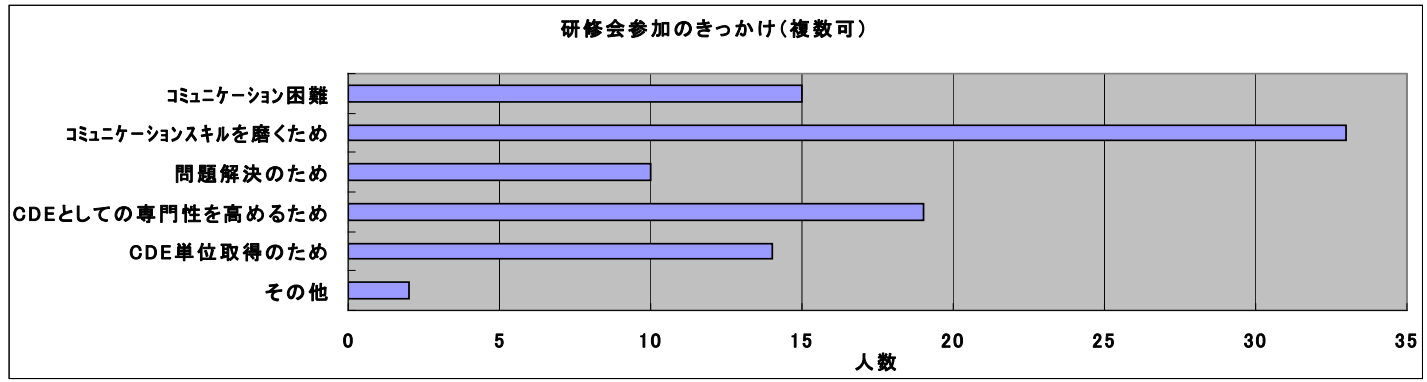
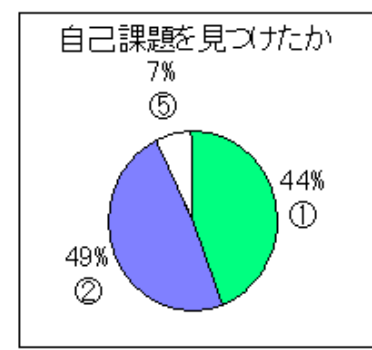
研修会に参加した目的を達成できたかどうかについては「おおいに」39%、「まあまあ」59%でした。「体験したことから理解が深まった」「コミュニケーションスキルを磨くことができた」「関わり方のコツがわかった」という意見がありました。

日頃抱えている問題や悩みについて解決の糸口となったかについては「おおいに」37%、「まあまあ」61%でした。「同じ悩みを持っていると感じた」「コミュニケーションが円滑に行えるように思う」という意見がありました。

「このような研修会を今後も継続する事に対してどのよう思うか」については「おおいに継続してほしい」74%で、できれば継続してほしい「24%」でした。

その他「Qの会」への意見・要望としては、懇親会をしてほしい、「他院の活動状況も知りたい」「思っていた以上に実のある会でした」「鳥影先生の研修を次回もおねがいします」等色々なご意見をいただきました。

アンケートに御協力ありがとうございました。皆様方の貴重な意見を参考にさせていただきます。これから「Qの会」の活動に生かせるよう努力していきます。ご意見がございましたらいつでもお知らせください。



①おおいに ②まあまあ ③あまり ④ほとんど ⑤無回答

あなたも参加してみませんか? プチ研修会へ!

毎年2回開催されるQの会研修会も既に4回終了しました。早いものでQの会が発足し今年3年目に突入しました。そこで、理事会で討議し、年2回の研修会だけでは何か物足りないのではないかと、この意見が出され、検討の結果、「プチ研修会」を開催することにしました。本年2月より2ヶ月に1回、香川県内の各施設持ち回りで少人数のデイスカッションができる研修会です。

第一回プチ研修会は、2月25日(日)13時半~15時半の2時間、坂出市立病院講堂において「インスリンリスクマネジメント」についてデイスカッションを行いました。

そして第二回プチ研修会は、5月にキナシ大林病院で開催予定となっております。

開催の案内は、研修会担当理事と、その理事からの口コミでおこないます。郵送や電子メールでの広報活動は行いませんので、参加希望の方は、直接担当理事までお申し込みください。

(記：坂出市立病院 溝上貴世美)

「Qの会」第5回研修会・総会開催決定

2007年6月24日に第5回「Qの会」研修会・総会が開催されます。

今回は「血糖パタンマネジメントで生活支援 血糖値が教えてくれるもの」をテーマに研修を予定しています。

平成16年度香川県は糖尿病死亡率全国ワースト5位という憂慮すべき事態に陥ってしまいました。チーム医療の中で、コーディネーターとしての役割を果たす私達、看護師の役割は非常に重要です。患者さんにとって効果的な援助ができるよう一緒に学んでいきませんか? まずは知識の向上を目指しましょう。

会員はもとより、多くの皆様の参加をお待ちしています。

CDEリーダー育成ワークショップに参加して

1月20・22日東京、ジョンソンエンドジョンソンの本社において48名のCDEや認定看護師が集まり、「私が奨めるSMBG活用法のプランニング」をテーマにワークショップが開催されました。1日目は、SMBGの役割、性能、疫学、活用例や血糖パターンマネジメントについて講義を受けました。2日目は、グループワークを行い、最後に糖尿病に関する国際決議についての講義が有りました。

2日間を通して得られたものは、「SMBGを活用した指導は定着していかない」「血糖値の示す値を考える力をつける血糖マネージメント指導は効果的となる」「血糖値を測定するだけで、血糖値が安定・改善傾向になる」「HbA1cが7.3以下の人は食前より食後血糖を測定する」などエビデンスに基づいた講義により、明日からの患者指導に活かすことができる充実した研修でした。

(記：渡辺祥子)

学会・研修会の1案内

認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。

第12回日本糖尿病教育・看護学術集会・・・第1群4単位または第2群

日時：2007年9月15日(土)~9月16日(日)

場所：幕張メッセ国際会議場

連絡先：FAX 043 226 2427

第50回日本糖尿病学会年次学術集会・・・第2群4単位

日時：2007年5月24日(木)~5月26日(土)

場所：仙台サンプラザホール等



研修会風景

編集後記
Qの会の活動も二年目となりました。会員の皆様でどんどん発展していければと思っております。これらの活動にもご協力ください。皆様の力を待っています。

広報担当 串田久美